

厚生労働省「平成28年度女性医師キャリア支援モデル普及推進事業」

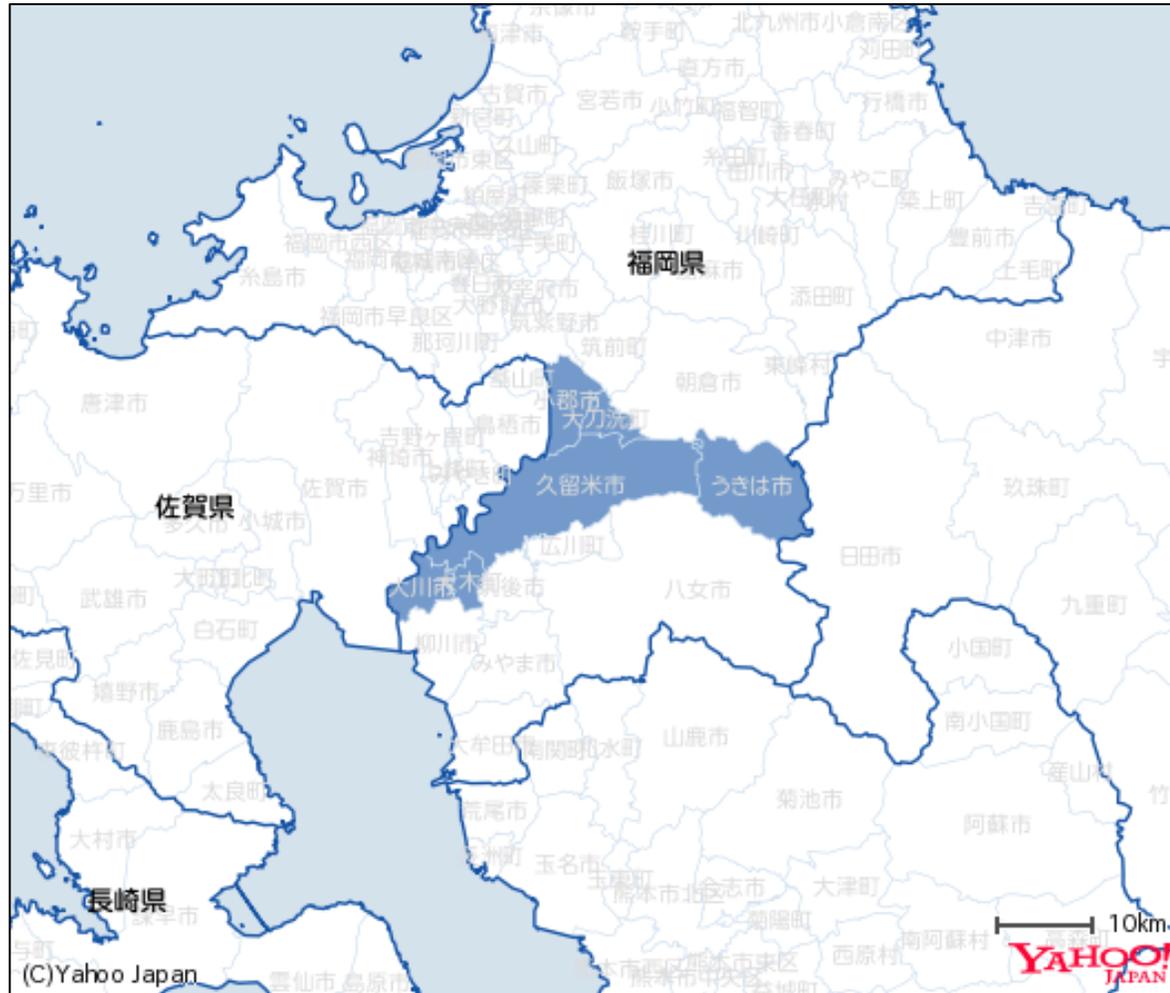
当院における事業の概要と成果

久留米大学病院

守屋 普久子

久留米大学病院の属する2次医療圏

久留米医療圏



人口10万人当たりの医師数

	各医療圏別(人)	全国平均(人)
久留米医療圏	502.63	245.93
筑紫医療圏	196.99	
有明医療圏	250.36	
朝倉医療圏	191.84	
八女・筑後医療圏	226.43	
佐賀県東部医療圏	179.25	
大分西部医療圏	175.02	

日本医師会JMAP地域医療情報システムより作成

久留米大学病院の医師数

◆総医師数 : 643人 (男性医師486人 女性医師157人)

女性医師率 24.4%

{ 初期研修医 : 84人 (男性医師51人 女性医師33人) }

女性医師率 39.2%

当院で行った女性医師キャリア支援の取組

“新”は、新規事業

1、職場の理解にかかるとる取組

- ① 診療部長会での継続的な議事内容の報告
- ② **新** たこ焼きランチョンの開催

4、診療体制にかかるとる取組

- ① 病院内カンファランス時間の調査
- ② 小児科: 制度によるワークライフバランスの取組
- ③ **新** 病院内各診療科での診療体制アンケート

2、相談窓口等にかかるとる取組

- ① **新** つながろカフェの開催

5、保育環境にかかるとる取組

- ① **新** 育児ハンドブック(仮称)の作成(現在作成中)
- ② **新** 看護部の子育て支援ニュースの配信

3、勤務体制にかかるとる取組

- ① **新** 出産・育児に関する学内支援の広報活動
- ② パート医師制度と、**新** サポート体制の充実

6、復職支援にかかるとる取組

- ① **新** 女性医師復職支援モデル開発に関するアンケート
- ② **新** ママさん医師の「仕事へのやる気」と「医学への向上心」変化グラフ作成とその分析
- ③ **新** 到達目標習熟表の作成 アレルギー専門医試験用

女性医師 キャリア支援 6つの取組

1. 職場の理解にかかるとる取組
2. 相談窓口等にかかるとる取組
3. 勤務体制にかかるとる取組
4. 診療体制にかかるとる取組
5. 保育環境にかかるとる取組
6. 復職支援にかかるとる取組

久留米大学病院診療部長会での報告事項

開催月	報告事項
平成28年4月	麻酔科医不足の現状と対策
	医師の育休取得の相談
平成28年5月	医系講師以上の女性および病院役職者に占める女性の割合(平成27年度)
	女性医師50%を超えた医局の運営方針
平成28年6月(臨時開催)	パート医師制度申請の方針
平成28年7月	平成29年度の医学科3年生の新カリキュラム
	久留米大学病院ママさん医師コミュニティ(仮称)構想
平成28年9月	厚生労働省「平成28年度女性医師キャリア支援モデル普及推進事業」
	病理学講座におけるワークライフバランスの取り組み
平成28年11月	子育て支援の情報整備(看護部の取組)
	厚生労働省の推進事業
平成29年1月	厚生労働省の推進事業
	小児科の土日担当医制のその後の報告

厚生労働省
の推進事業

医学教育

医局運営

ライフワー
クバランス

新規
事業

たこ焼きランチョン開催



	開催日時	演題名	参加人数
第1回	2016/5/15	「総合健診センターパート医師の活躍」	35人
		「女性が活躍するベトナム社会」	
第2回	2016/11/15	「育児をしながらの仕事～健診センター業務紹介」	23人
		「外来診療で遭遇するDomestic violenceについて」	
第3回	2017/2/14	「育児休暇を取得した経験」	27人
		「Global Summit of Women 2016への参加で学んだこと」	

女性医師 キャリア支援 6つの取組

1. 職場の理解にかかるとる取組
2. 相談窓口等にかかるとる取組
3. 勤務体制にかかるとる取組
4. 診療体制にかかるとる取組
5. 保育環境にかかるとる取組
6. 復職支援にかかるとる取組

つながるカフェの開催

目的：女性医療従事者(医師に限らず)の悩み解消

- 子育てや仕事に関する悩みを、誰にも相談できない…
- ロールモデルがない…
- 情報(子育て・キャリア)を得たい…
- 他科の医師と知り合いになりたい…



久留米大学病院以外
からも参加OK

つながるカフェの開催

＜施設別参加者数＞

施設名	第1回(人)	第2回(人)
久留米大学病院	13	13
久留米大学医療センター	1	1
参加者合計	14	14

＜診療科別参加者数＞

診療科名	第1回(人)	第2回(人)
心臓血管内科	5	3
眼科	1	1
病理学・病院病理部	4	4
放射線科	1	1
小児科	1	1
消化器内科	2	2
総務部	0	2
参加者合計	14	14

女性医師 キャリア支援 6つの取組

1. 職場の理解にかかる取組
2. 相談窓口等にかかる取組
3. 勤務体制にかかる取組
4. 診療体制にかかる取組
5. 保育環境にかかる取組
6. 復職支援にかかる取組

パート医師制度によるキャリア支援

パート医師制度 出産や育児を含む諸理由で、一旦現場を離れた医師の復職プログラム

導入日時：平成27年4月

導入部署：総合健診センター(人間ドック)

総合周産期母子医療センター

勤務形態：週に1-2回（1日8時間以内）

時 給：3,000円（交通費別途支給）

注）男女の区別なく医師であれば勤務可能

人間ドッグパート医師1年後の動向

パート医師数		新規採用
平成27年度	3人	3人
平成28年度	4人	3人
平成29年度	4人	1人



常勤への異動	研究室異動	パート医師継続
1人	1人	1人
1人	0人	3人
—	—	—

2年間で3名が
常勤へ！！

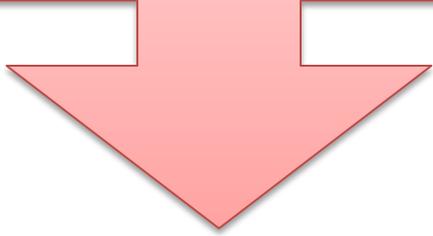
人間ドッグ学会
入会 3名

女性医師 キャリア支援 6つの取組

1. 職場の理解にかかる取組
2. 相談窓口等にかかる取組
3. 勤務体制にかかる取組
4. 診療体制にかかる取組
5. 保育環境にかかる取組
6. 復職支援にかかる取組

小児科：制度によるライフワークバランスの取組

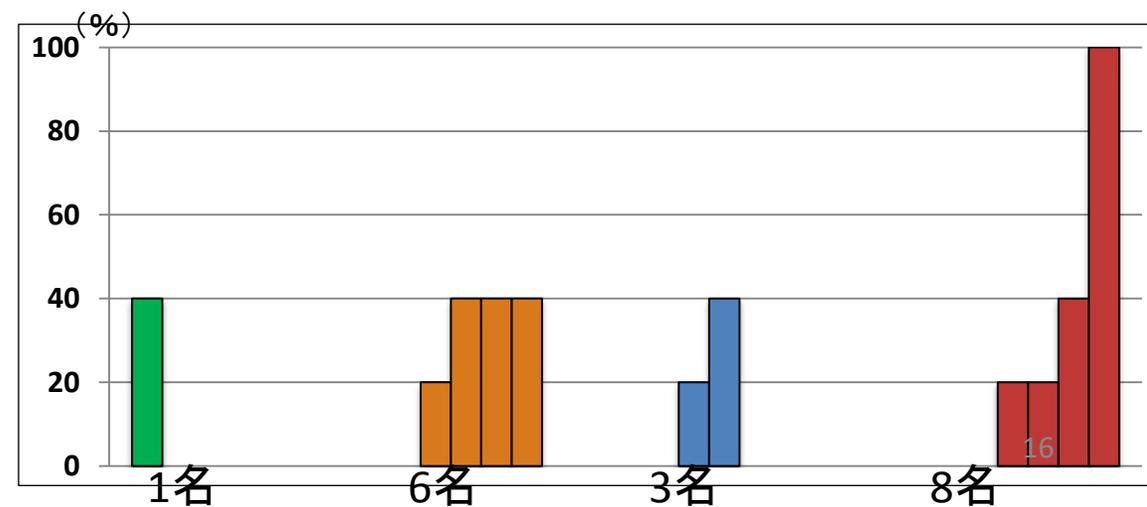
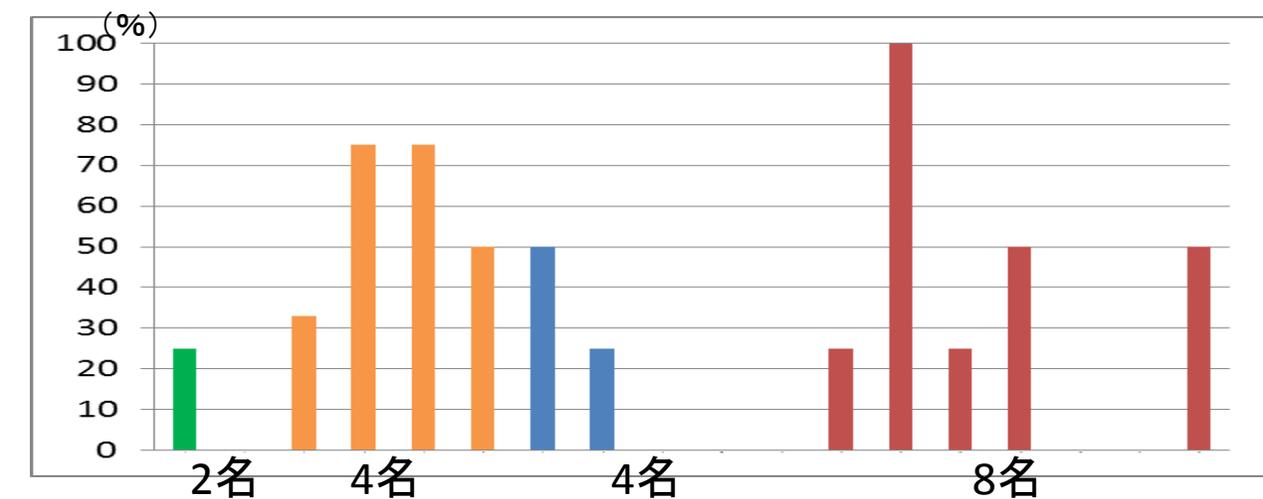
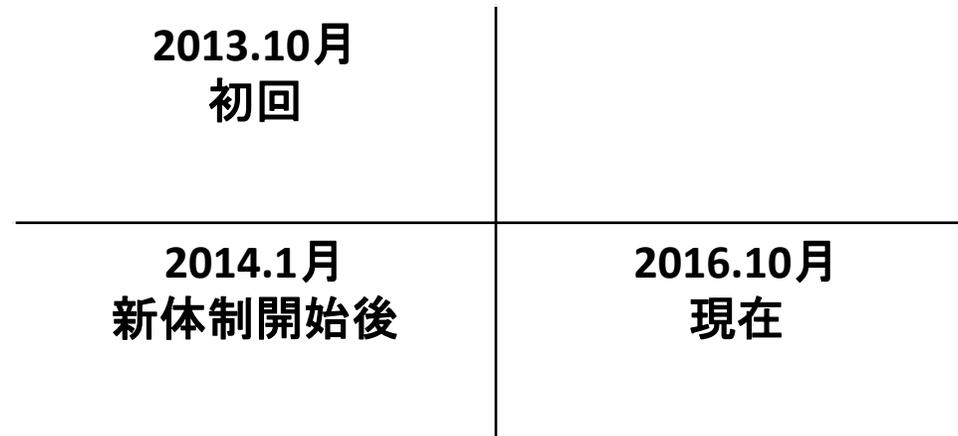
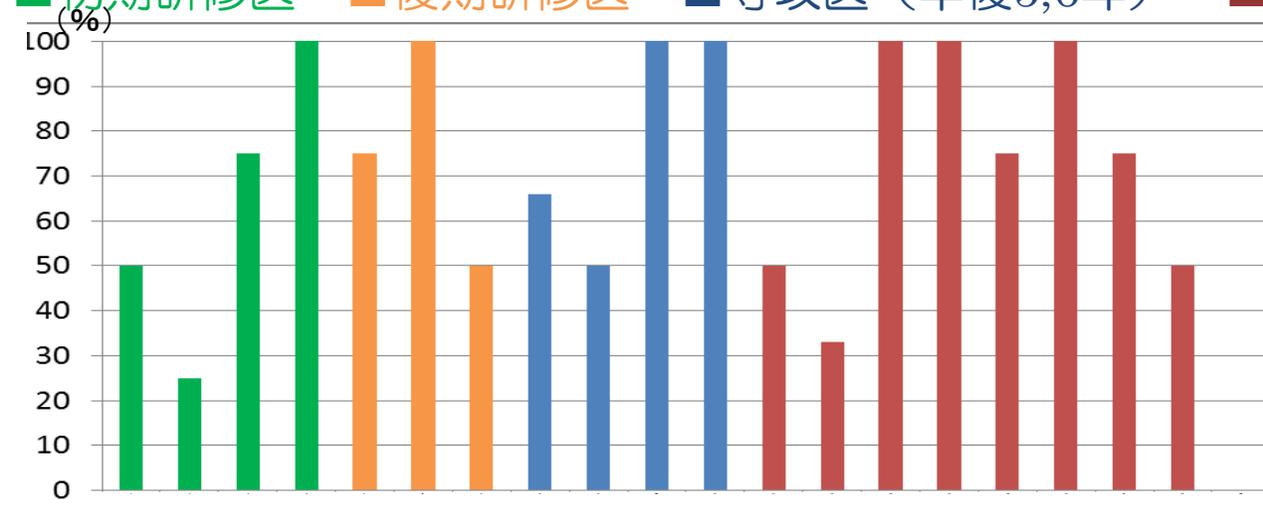
on-offを明確に



当直医以外は、休日は休みましょう

休日の出勤状況(2013年との比較)

■ 初期研修医 ■ 後期研修医 ■ 専攻医 (卒後5,6年) ■ 病棟係(卒後7,8年)



女性医師 キャリア支援 6つの取組

1. 職場の理解にかかるとる取組
2. 相談窓口等にかかるとる取組
3. 勤務体制にかかるとる取組
4. 診療体制にかかるとる取組
5. 保育環境にかかるとる取組
6. 復職支援にかかるとる取組

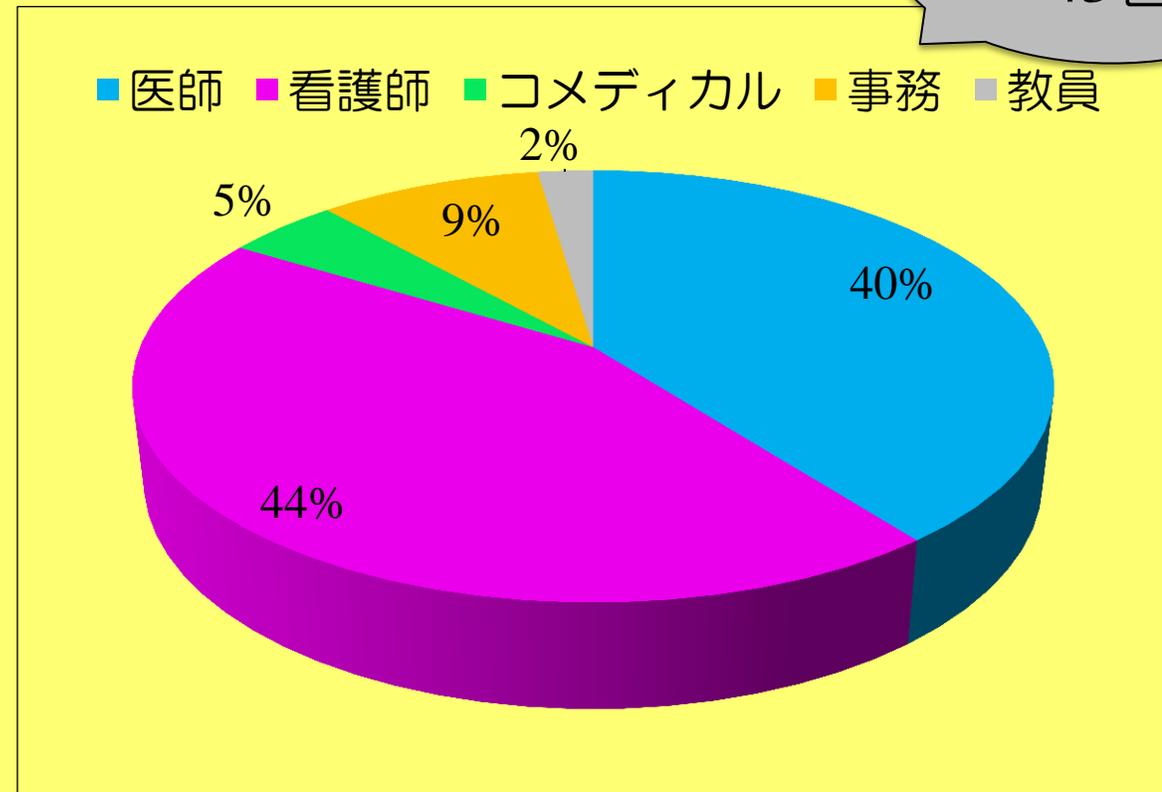
保育環境にかかる取組

久留米大学保育所

週1回24時間保育

利用者数
43名

利用者の職種内訳
(平成29年1月31日現在)



保育環境にかかる取組

病児保育施設(学内)

- 平成24年4月1日開設
- 久留米市からの委託
- 利用日：月～土 7:45～17:45
- スタッフ：看護師1名、保育士2名

「子育てハンドブック(仮称)」 作成中

- 内 容：
- 久留米大学保育所案内
 - 病児保育施設案内
 - 久留米市内や周辺の育児関連の
情報提供窓口の一覧を掲載

担当窓口：給与厚生課

新規
事業

女性医師 キャリア支援 6つの取組

1. 職場の理解にかかるとる取組
2. 相談窓口等にかかるとる取組
3. 勤務体制にかかるとる取組
4. 診療体制にかかるとる取組
5. 保育環境にかかるとる取組
6. 復職支援にかかるとる取組

復職支援モデル開発に関する聞き取り調査

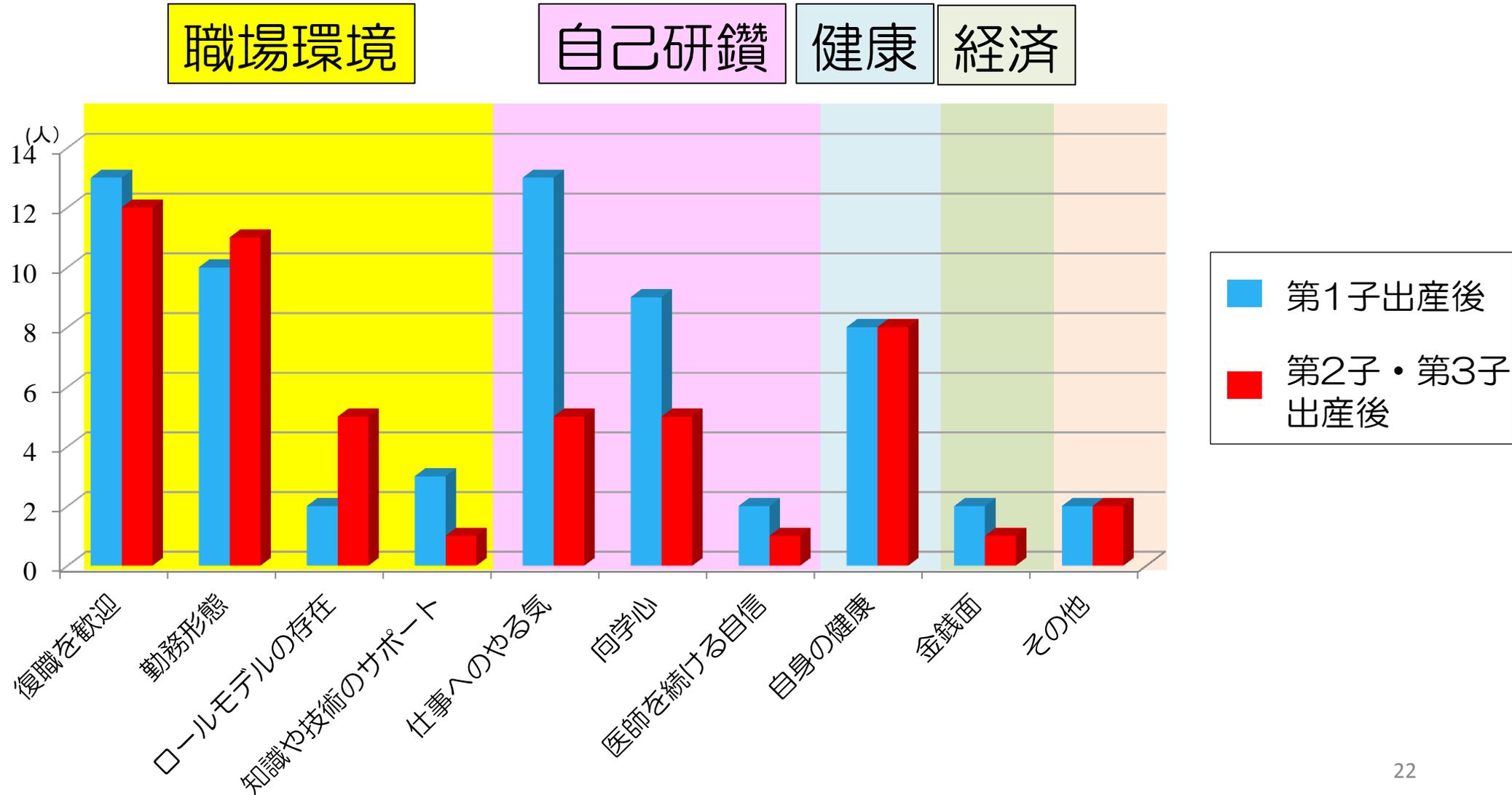
対 象

久留米大学病院で働く出産経験のある女性医師

結 果

- 有効総数：26
- 年齢中央値：36歳
- 夫の職業：9割が医師

結果 復職成功の要素



まとめ 復職成功の要素

第1子出産後

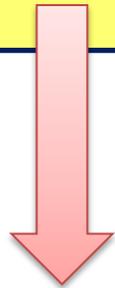
第2子・第3子出産後

職場環境

自己研鑽

職場環境

自身の健康



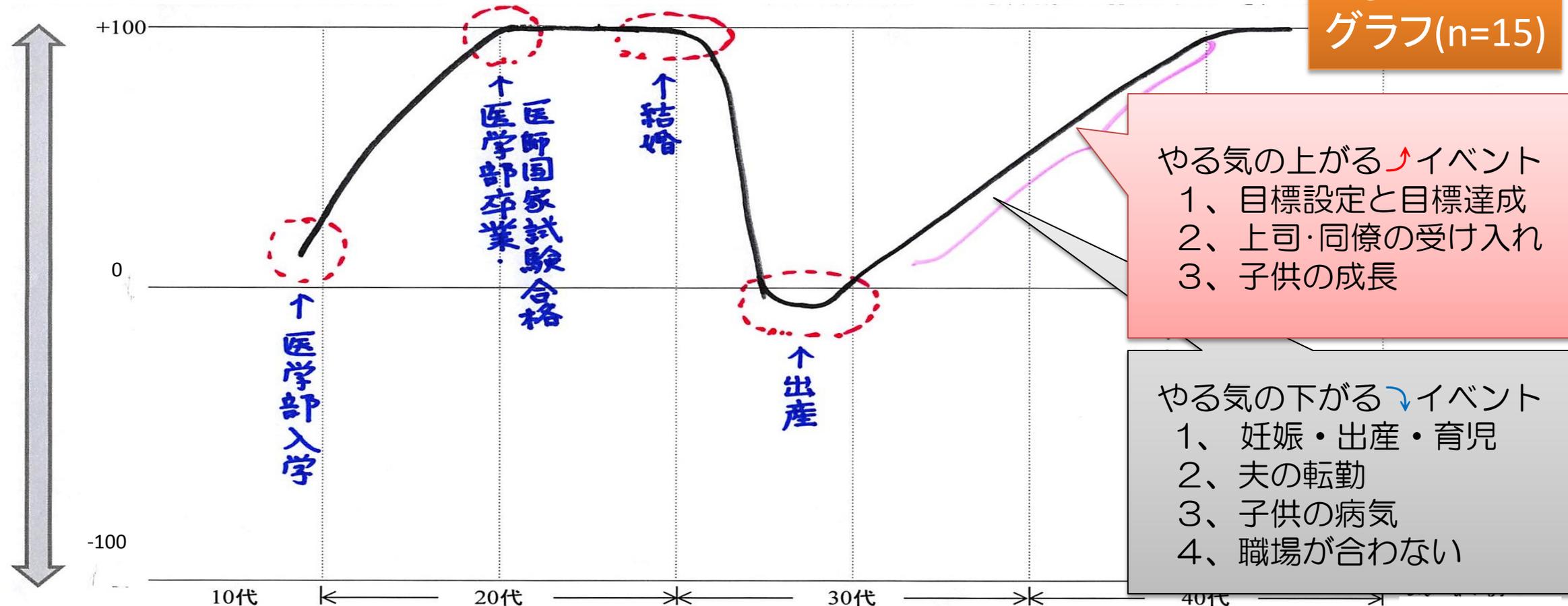
「仕事へのやる気」
「向学心」



やる気スイッチは何か？

やる気スイッチグラフ

時系列にそって、やる気の変化・向学心の変化をグラフ曲線で表現する
 変化のきっかけとなる**セルフイベント**を記入する



事業の成果

1、職場の理解にかかるとる取組	診療部長会での報告	各診療科トップの女性医師キャリア支援への認知度が上昇した
	たこ焼きランチオン	医学生・勤務医への女性医師キャリア支援への認知度が上昇した
2、相談窓口等にかかるとる取組	つながろカフェ	臨床科を越えたネットワークが形成された
3、勤務体制にかかるとる取組	パート医師制度	2年間でパート医師3名が常勤、人間ドッグ学会に3名が入会
	育児ハンドブック(仮称)の作成（現在作成中）	担当部署の広報活動の促進につながった
4、診療体制にかかるとる取組	病院内カンファランス時間の調査	問題点の抽出がなされた
	小児科ライフワークバランスの取組	制度作りにより、ライフワークバランスがはかれた
	病院内各診療科での診療体制アンケート	問題点の抽出がなされた
5、保育環境にかかるとる取組	育児ハンドブック(仮称)の作成（現在作成中）	担当部署の広報活動の促進につながった
	看護部の子育て支援ニュースの配信	看護部のノウハウの取り込みにつながった
6、復職支援にかかるとる取組	女性医師復職支援に関するアンケート	復職に成功する要素を抽出できた
	やる気スイッチグラフの作成	仕事のやる気や向学心の上昇下降のセルフイベントが明確になった
	到達目標習熟度表の作成	目標達成への項目が明確になった

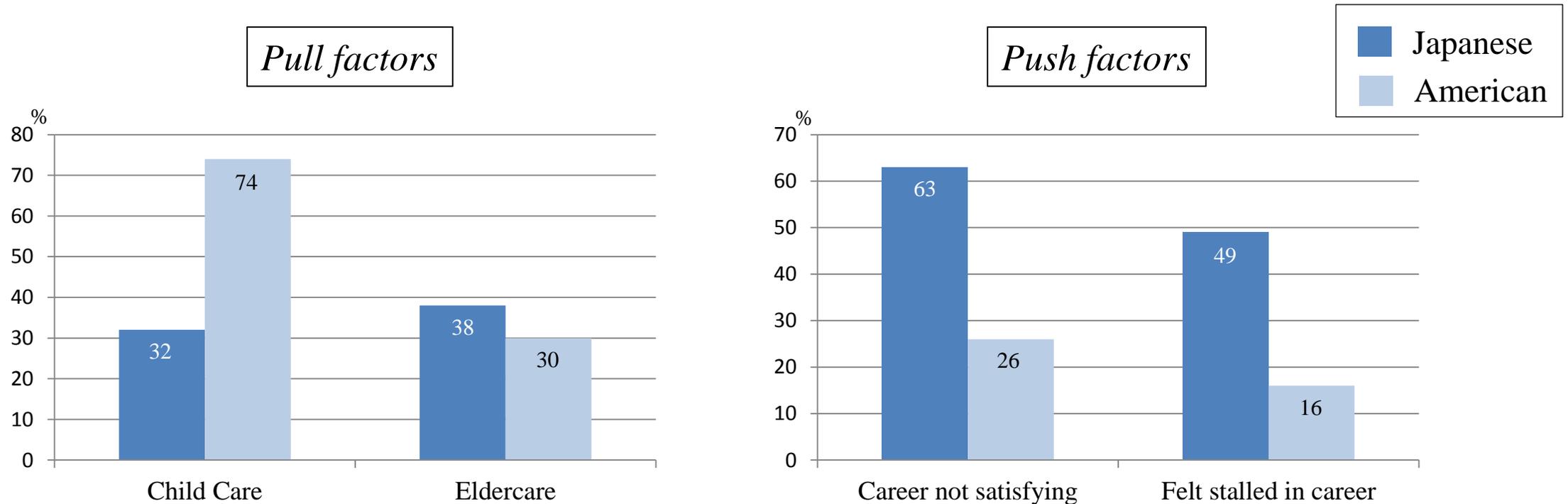
事業の成果（まとめ）

- 男女共同参画事業の認知度上昇
- 臨床科を越えたネットワークが形成された
- パート医師3名が常勤となった
- ライフワークバランスの促進に、制度作りが有益だった
- 学内広報活動の促進がなされた
- 働くための“やる気スイッチ”の把握が進んだ
- 到達目標習熟度表により、目標達成項目が明確になった

□ 佐賀大学や長崎大学など、九州内の大学のやる気 

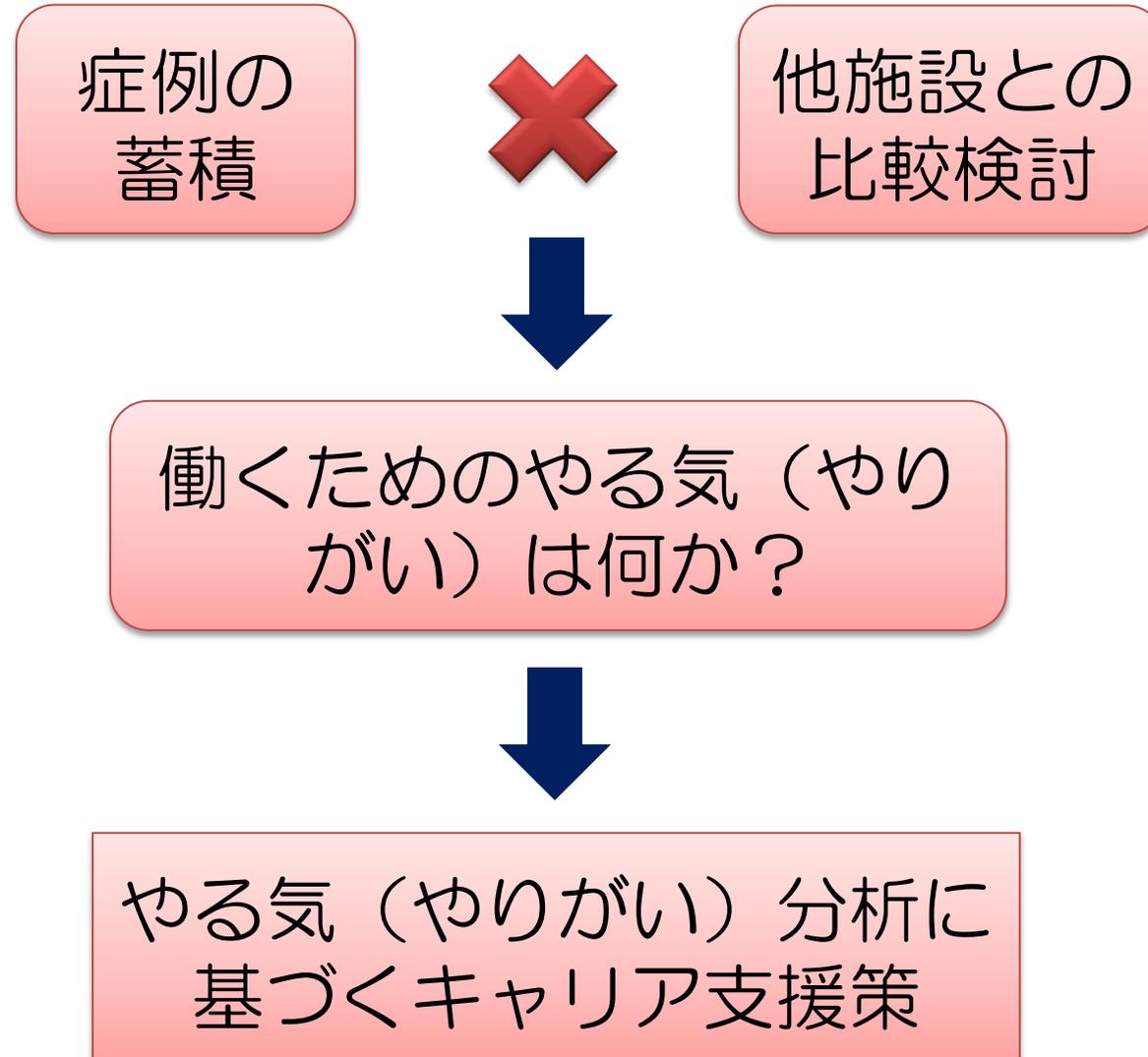
今後の課題 やる気スイッチグラフの活用

Reasons cited for leaving the workforce—Japanese women cite “push” factors more than “pull” reasons



Sylvia Ann Hewlett and Laura Sherbin’s “Off-Ramps and On-Ramps Japan: Keeping Talented Women on the Road to Success,” Center for Work-Life Policy, 2011.

やる気スイッチグラフを利用した今後の発展





H29.3.29

厚生労働省「平成28年度女性医師キャリア支援モデル普及推進事業」

事業のまとめと今後の課題

久留米大学病院男女共同参画事業推進委員会

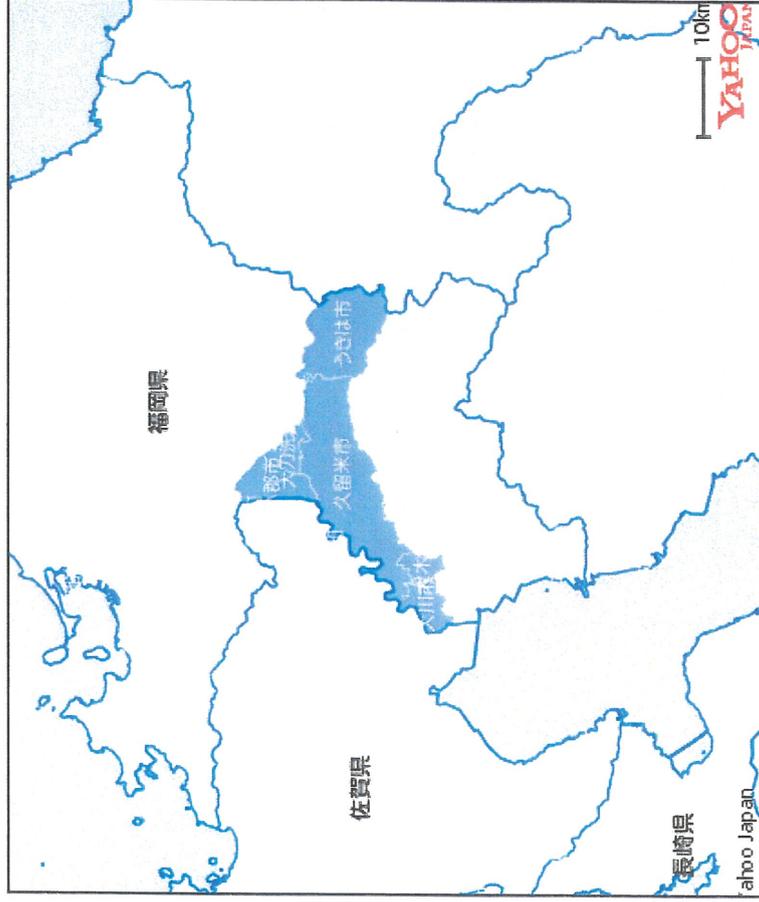
守屋 普久子

久留米大学病院の属する2次医療圏



H29.3.29

<久留米医療圏>



<人口10万人当たりの医師数>

	各医療圏別(人)	全国平均(人)
久留米医療圏	502.63	245.93
筑紫医療圏	196.99	
有明医療圏	250.36	
朝倉医療圏	191.84	
八女・筑後医療圏	226.43	
佐賀県東部医療圏	179.25	
大分西部医療圏	175.02	

久留米大学病院の医師数



◆総医師数 : 643人 (男性医師486人 女性医師157人)

女性医師率 24.4%

{初期研修医 : 84人 (男性医師51人 女性医師33人)}

女性医師率 39.2%

当院で行った女性医師キャリア支援

1、職場の理解にかかるとる取組

- ① 診療部長会での継続的な議事内容の報告
- ② **新** たこ焼きランチヨンの開催

2、相談窓口等にかかるとる取組

- ① **新** つながらろカフェの開催

3、勤務体制にかかるとる取組

- ① **新** 出産・育児に関する学内支援の広報活動
- ② **新** パート医師制度
サポート体制の充実

4、診療体制にかかるとる取組

- ① 病院内カンファランス時間の調査
- ② 小児科：制度によるライフワークバランスの取組
- ③ **新** 病院内各診療科での診療体制アンケート

5、保育環境にかかるとる取組

- ① **新** 育児ハンドブック(仮称)(現在作成中)
- ② **新** 看護部の子育て支援ニュースの配信

6、復職支援にかかるとる取組

- ① **新** 女性医師復職支援モデル開発に関するアンケート
ママさん医師の仕事への「やる気スイッチグラフ」作成
- ② **新** 到達目標習熟表作成(アレルギー-専門医用)

やる気スイッチグラフとは？

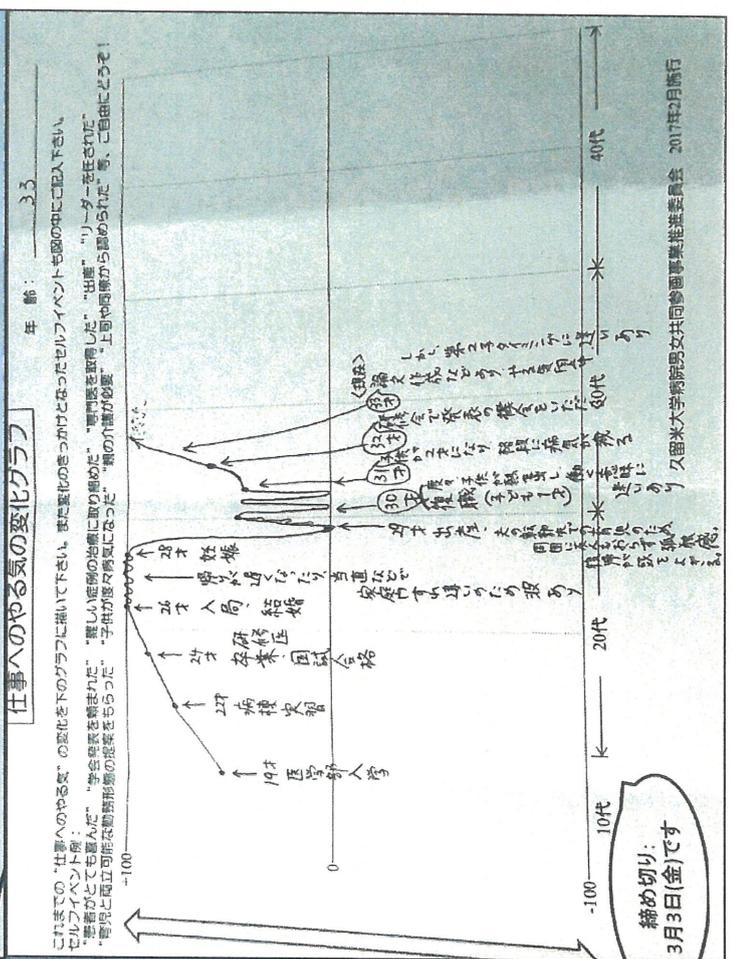
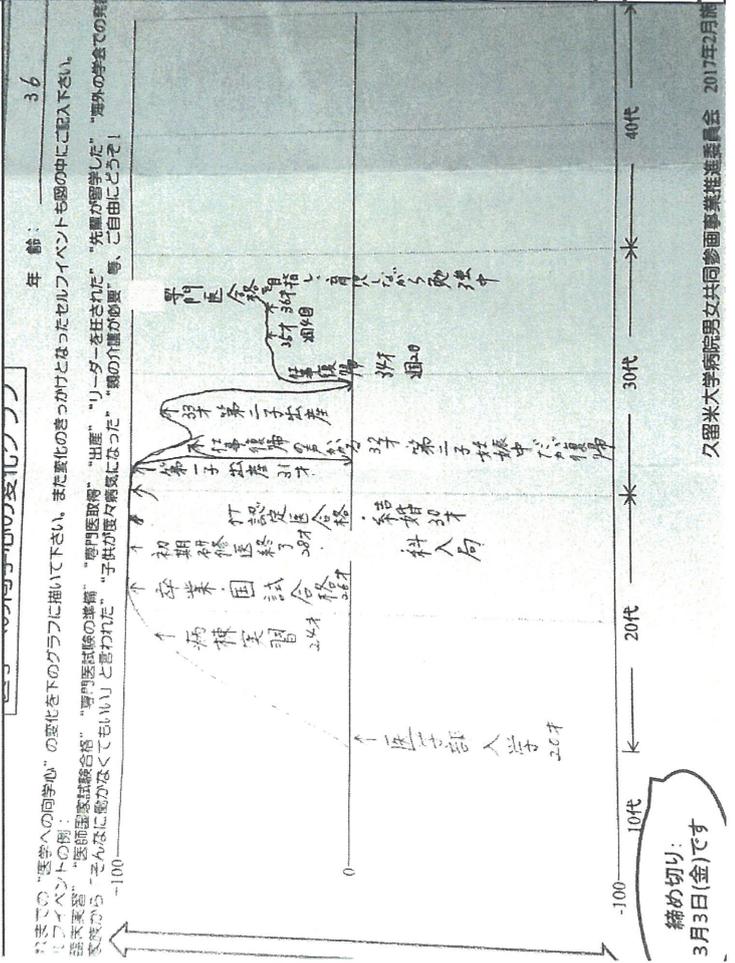
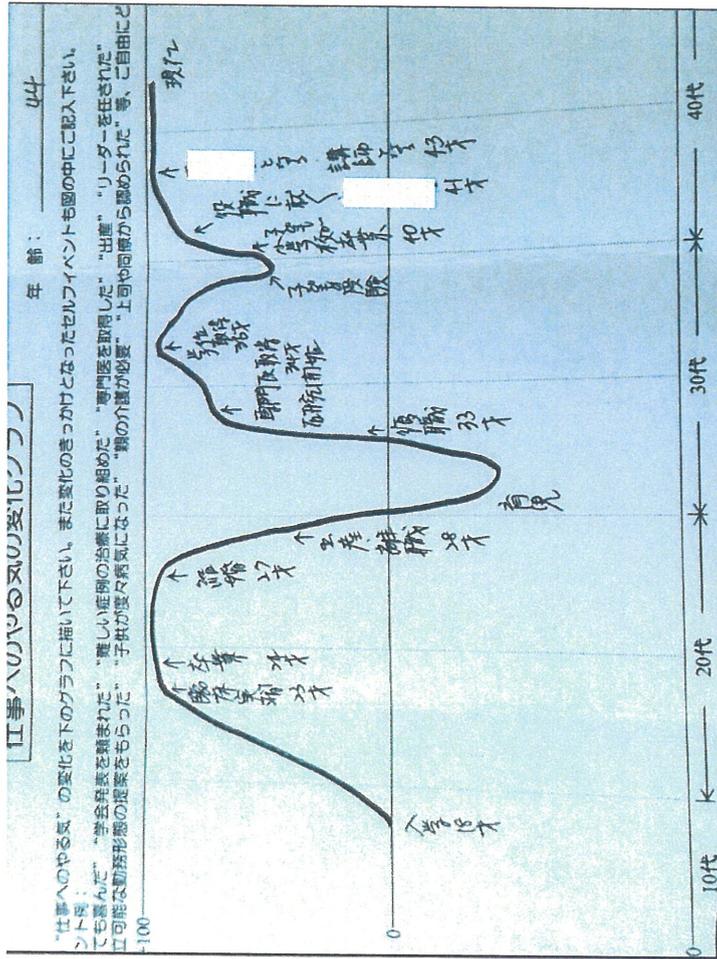
- ① “仕事へのやる気” と “医学への向学心” の変化を時系列でグラフ曲線で表現
- ② 変化(上昇・下降) のきっかけとなった出来事をグラフに記入

＜方法と対象＞

対 象：久留米大学病院で働くママさん医師

調査方法：ママさん医師の所属する医局より、各自に調査票を配布
各自記入後に、学内便で返送

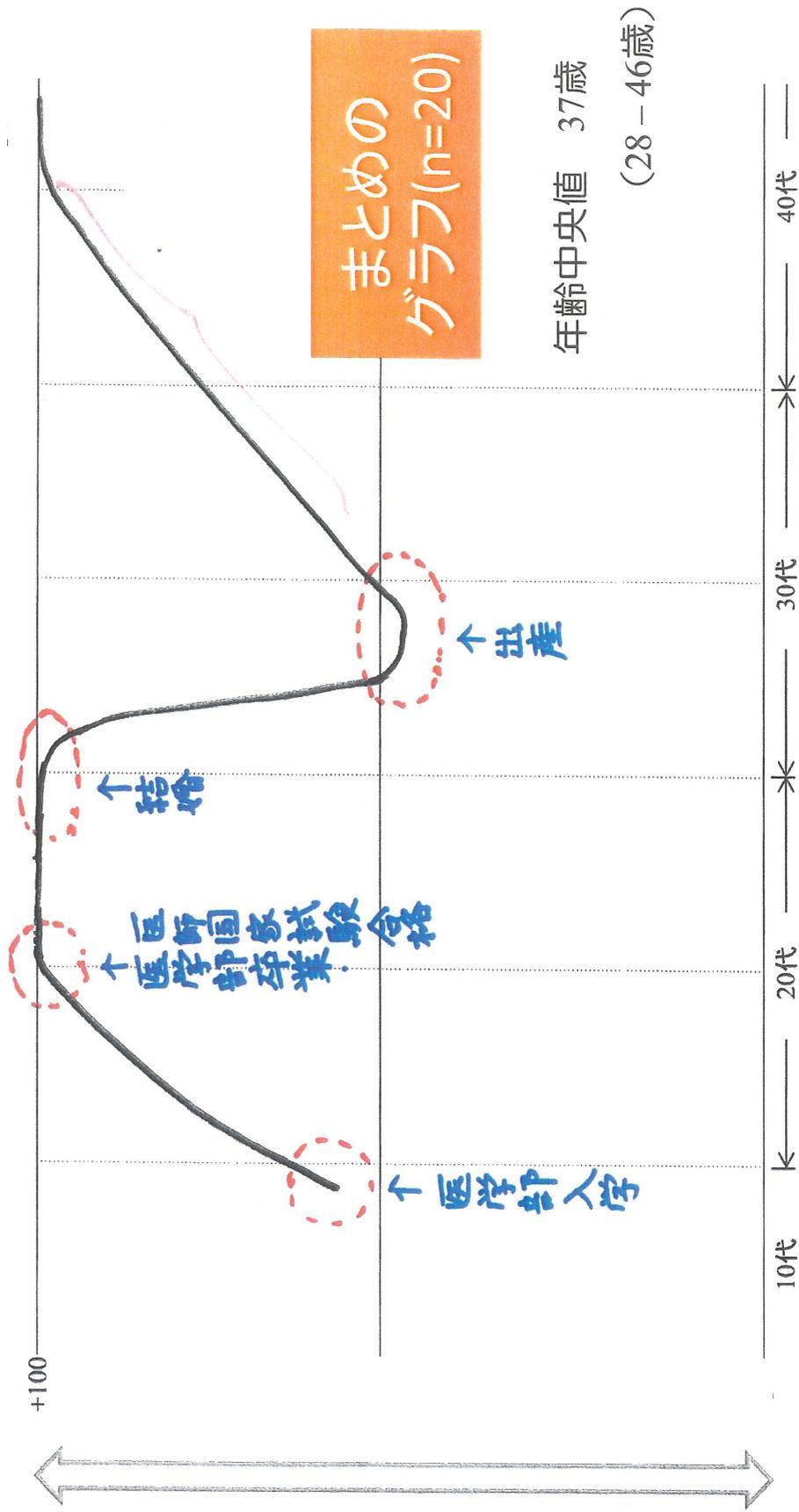
やる気スイッチグラフの 具体例



やる気スイッチグラフ



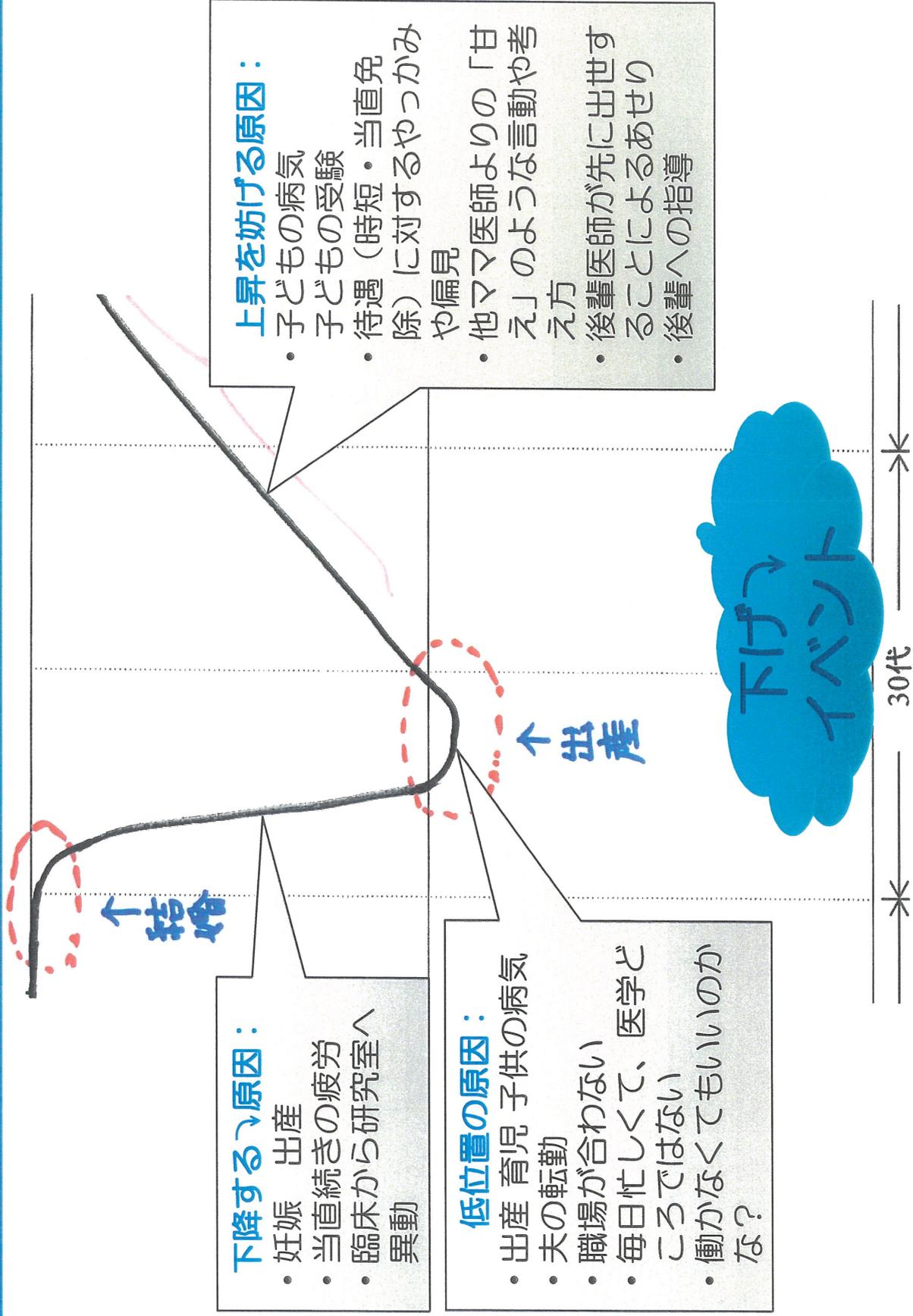
H29.3.29



やる気スイッチグラフ



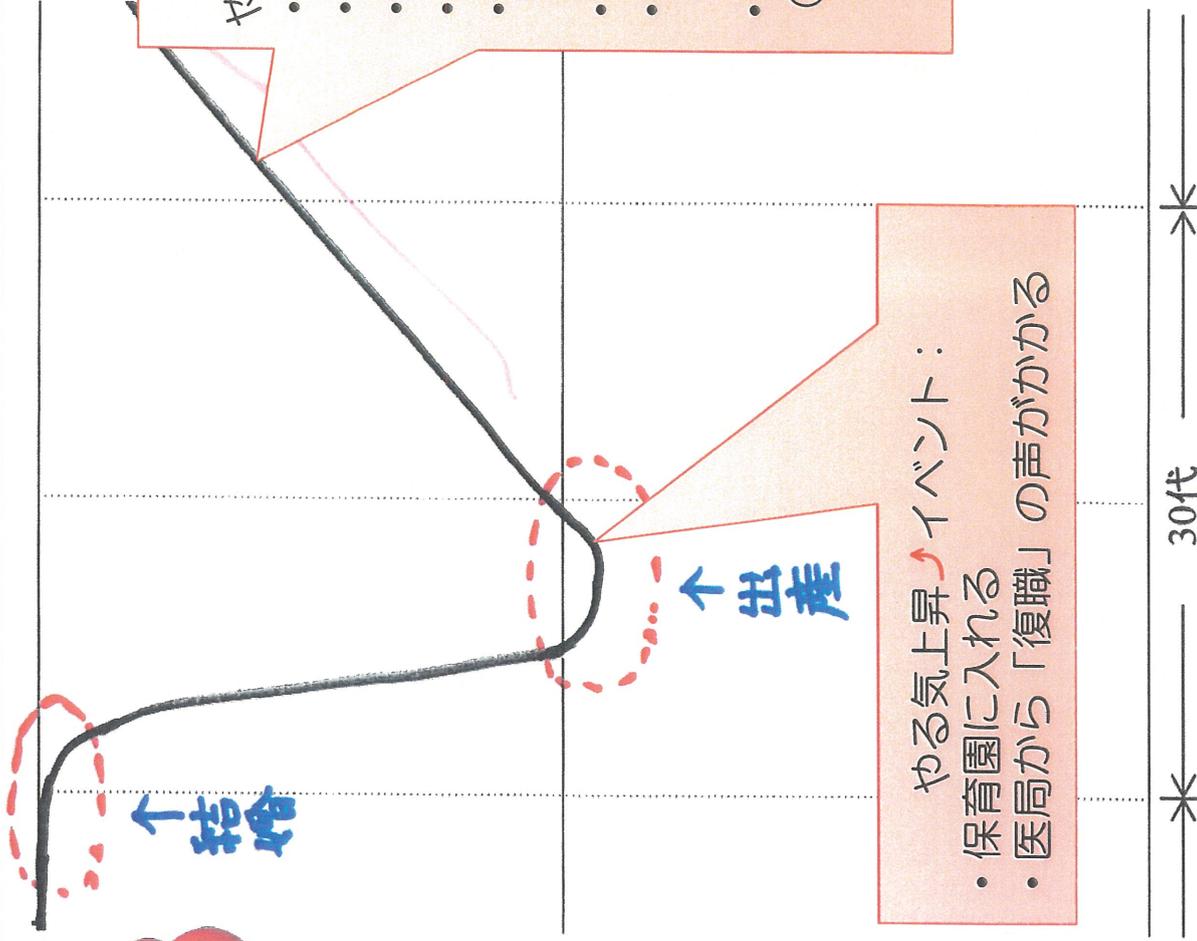
H29.3.29



やる気スイッチグラフ



H29.3.29



やる気スイッチグラフ



H29.3.29

考察

- 医学生の時は、とてもやる気が高い
- 結婚自体は、下げ↓イベントにならない
- 復職そのものが、上げ↑イベント
- 専門医取得や論文作成など具体的な目標は、↑イベント
- “仕事のやる気”と“医学の向学心”は連動している
- 重要なことは、職場の上司や同僚から認められること
- 復職支援・キャリア支援に必要なもの（↑イベント）を探す有用なツール
- 自己見返りの機会につながった

事業実施による効果



H29.3.29

- ネットワーク作りが進んだ
- パート医師3名が常勤になった(2年間で)
- “やる気スイッチグラフ”により、やる気を
起こす原因が把握しやすいことがわかった

今後の展開



H29.3.29

- ✓ 症例の蓄積
- ✓ インタビューを使用した詳細な検討

組織図

有識者(敬称略)

- 九州大学さくらめきプロジェクト 榎木晶子
- 長崎大学副学長 伊東昌子
- 福岡県医師会理事 佐藤薫
- 福岡県男女共同参画センター「あすばる」館長 松田美幸
- 久留米大学理事長・学長 永田 見生

学外委員(敬称略)

- 久留米市協働推進部部长 小林文子
- JCHO久留米総合病院院長 田中眞紀
- 内藤病院院長 内藤雅康
- 株式会社八ちゃん堂専務 川邊勝代
- 純真学園大学教授 鹿毛 政義

自主研究グループ

九州女性泌尿器科医
研究会

福岡県

- 福岡県男女共同参画センター「あすばる」
- 女性の大活躍推進福岡県会議

久留米市

- 久留米市男女平等推進センター
- 久留米市男女協働推進部

男女共同参画事業推進委員会(元氣プロジェクト委員会) 委員長:山川 良治



医学教育チーム

福利厚生チーム

久留米大学病院各臨床科

久留米大学病院

久留米大学関連医療施設
協議会

福岡大学
臨床心理センター

久留米大学医学部

久留米大学総務部
給与厚生課

佐賀大学病院

飯塚病院

九州大学病院

医師会関係

- 福岡県医師会
- 日本医師会女性医師支援センター



H29.3.29

当院の提案



H29.3.29

タイムスケジュール

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
H29.4月 インタビュー ア-の訓 練・打合せ								
インタビュー (久留米大学病院及び他の大学病院 や北部九州の一般の病院)								
						解 析		論 文 作 成

費用計算

職 種	支払額	内 訳
専任研究員	187万円	(17万円/月×9か月+賞与2か月分)
調査員(3人)	90万円	(1.5万円/日/人×4日×5か月×3人)
事務系職員 解析	51万8400円	(1200円/時×4時間/日×3日/週×4日/月×9か月)
論文投稿費用	10万円	
	15万円	
合計	353万8400円	